

乙女高原が好き！0902号

2009 夏 涼しい乙女高原でお会いしましょう

乙女高原案内人による自主活動(ボランティア・インタープリテーション)

今年も小中学校が夏休み期間中の土日、乙女高原案内人の皆さんが交替で乙女高原に駐在し、希望者には無償で案内をしてくれます。ぜひ、ご家族やご友人をさそって、乙女高原においで下さい。そして、「レンゲツツジとマルハナバチ」をあしらったワッペンを付けている案内人がいたら、お気軽に声をおかけください。

なお、案内人がいる日には、下の駐車場とロッジ前の草原入り口に看板が掛けてあります。案内人はロッジ前にいるか、草原内をパトロールしています。案内人が乙女高原にいる時間帯は、おおむね午前10時から午後3時までです。



乙女高原案内人の活動日	
7月	18(土)19(日)20(祝) 25(土)26(日)
8月	1(土)2(日) 8(土)9(日) 15(土)16(日) 22(土)23(日) 29(土)30(日)

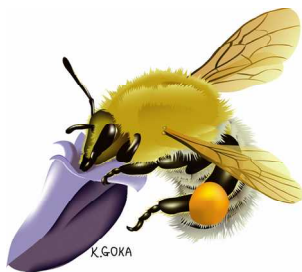
乙女高原案内人キャンプ

当初の予定は7月下旬でしたが、諸事情のため、8月下旬に延期されました。案内人の皆さん、ぜひご参加ください。「乙女高原が好き。乙女高原をいつまでも大切にしたい」という同じ思いを持って活動していながらも、なかなかゆっくり話す機会がありませんよね。たまには、ロッジに泊まって、満天の星を眺めながら、語り明かしましょう。

- ・月日 8月22日(土)～23日(日) (昼のみ、夜のみ参加可)
- ・予定 22日13時 乙女高原グリーンロッジ集合 遊歩道の杭づくり、食事づくり、星空観察、草原散策など (食事は22日夕食・23日朝食・昼食の3食)
- ・費用 3,000円程度

夏休み マルハナバチと なかよくなるろう

マルハナバチ調べ隊



8月9日(日)午前10時～午後2時半
クマのプーさんみたいな、毛むくじゃらで、おデブな体。ハチなのに、めったに人をさしません。マルハナバチは花たちにとってもたよりにされています。マルハナバチだけに来てもらえるような工夫をしている花もあります。そんなマルハナバチに会いに来てください。

募集人数 20人(申し込み順)小学校4年生以上。
それ以下のお子さんでも保護者と一緒なら参加可
参加費 無料 当会の予算で行事保険に加入します
持ち物 筆記用具、べんとう、雨具(他にルーペなど)

【プログラム】
マルハナバチのかみしばい
マルハナバチのライン・センサスちょうさ
マルハナバチのまちぶせちょうさ
ちょうさけっかのまとめとわかちあい

第10回 遊歩道づくり

5月10日(日)



去年の遊歩道づくりの日は雪で作業は延期になってしまいましたが、今年は汗ばむようないい天気恵まれ、毎年恒例・今回で10回目となる遊歩道作りが行われました。参加者は68人。乙女高原ファンクラブの会員の皆さんはもとより、田丸グリーン基金の皆さん、山梨ロータリークラブの皆さんなど、大勢の方々が参加してくださいました。遊歩道の3つのコースごとにわかれ、それぞれスタッフの指示のもと、安全に作業を進めることができました。今回は市長さんが最初から最後までつきあってくださり、たくさんの杭を打ってくださいました(左下の写真)。昼食前には作業が終わり、昼食後、有志で観察会を行いました。いろいろなスミレに出会うことができました。皆さんの作業のおかげで、今年もたくさんの草花たちが安心して花を咲かせることができるでしょう。

乙女高原に来たら・・・お花のミニ看板をつけてくださいませんか？

毎年、花の名前を知らせるミニ看板をロープに吊しています。花の咲く時期に合わせて看板を掛け替えなければなりません。乙女高原に行く機会がありましたら、掛け替え作業をしていただけませんか？ ミニ看板はロッジに保管させていただいています。ロッジの管理人さんに一声かけて、その時期に咲いている花の看板と吊すための金具、金具を締めるミニペンチを保管用の衣装ケースから持ちだして、作業してください。

今年もまた、(株)田丸グリーン基金より活動協力費をいただきました

(株)田丸グリーン基金は、(株)田丸の社員の給料の一部と会社の利益を「社内環境税」として地元の自然保護団体に寄付する社内制度です。乙女高原ファンクラブは毎年、多額の活動協力費をいただいておりますが、今年も遊歩道作りの日にいただきました。これでいただくのは2004年の基金創設より6年目となります。今春、いただいた活動協力費を活用して、お花のパフレットを印刷させていただきました。(株)田丸グリーン基金の皆さん、毎年、ありがとうございます。

マルハナバチ調べ

6月28日(日)

心配された雨はどうやら大丈夫らしいのですが、一番の心配は、「マルハナバチが飛ぶか」でした。というのも、どうも今年はマルハナバチが非常に（異常に？）少なくて、4月からもう10回、乙女に来ているのですが、いまだ草原内でマルハナバチを1回も見えていないのです。いつもの年なら、レンゲツツジの花に来るコマルハナバチの姿が見られるはずなのに。

今回はちらしを作ったり、マスコミにPRをお願いすることなく、ネットで情報を流しただけなのですが、総勢20名が集結。楽しい「観察会」になりました。一番の大所帯は、長野からいらした自然観察指導員長野県連絡会ご一行様でした。

いつものように、かみしばいを使って、簡単にマルハナバチの説明をしました。見分け方については、一昨年作ったマルハナバチ・パンフレットを活用しました。また、2004年から昨年までの調査結果をグラフにしたものも見ていただきました。そして、いざ、ラインセンサス調査へと、草原内を進んだのですが、マルハナバチに出会うことができません。もちろん「マルハナバチ 0（ゼロ）」というのも、大事なデータですが、せつかく遠くからいらした方がいるのだから、せめて、数頭はお目にかかりたかったのですが・・・だめでした。ぼくは直接見ていないのですが、アヤメにちょっと来て、すぐに飛んでいったハチが1頭だけいたそうです。

これでは午後から待ち伏せ調査をしても空振りになることは目に見えていたので、急ぎょ、（普通の）観察会に振り替えました。草原コースを登り、「てっぺん」で草原の成り立ちについて説明し、ブナじいさんを紹介し、森のコースを下ってきました。

今年の夏のマルハナバチと、マルハナバチを待ちわびている乙女のお花たちが心配になりました。



今年も、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンで物品をいただきました

（株）マイカル石和サティとマックスバリュでは、毎月11日にレシートを黄色い紙にし、買い物をしたお客さんが応援したい団体のポストに投函すると、レシート額の1%をその団体に寄付するキャンペーンを行っています。その2008年度分として双眼鏡や文房具、救急医療品などをいただきました。

乙女高原ファンクラブの事務局だよ

新着情報

今年度、乙女高原にどんな昆虫が住んでいるのかを調べる「昆虫相調査」が始まっています。これは厚木市郷土資料館の学芸員・梶真史さん発案によるもので、梶さんを中心に月1回ほどのペースで調査を行っています。

2006年から、乙女高原に住んでいるホンドテンという動物の糞を収集し、その内容物から乙女高原のホンドテンがどのような生活を送っているのか、他の場所のホンドテンの糞のデータと比較しながら明らかにしようという調査が進められています。

マルハナバチの定期調査は2004年からです。今年で6年目となりますが、おそく今年は今までで一番マルハナバチの数が少なくなるのではないかと心配しています。

調査にはこれらのほかにも、前号で紹介した原さんの温度観測等の調査もあります。調査を通して乙女高原の姿を知り、それを守る活動に生かしていきたいと思えます。



乙女高原ファンクラブ

乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』

(A4判186ページ)乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1000円、送料は一冊につき80円。欲しい方は郵便振込で一冊につき1080円分を送金してください。

マルハナバチの観察と調査のおともに『マルハナバチ ウォッチング』

(A3判両面カラー)マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。欲しい方は事務局までご連絡ください。



春から夏にかけて咲く草花のガイド『乙女高原のお花たち』

(A3判両面カラー)乙女高原フィールドガイドの第1号です。春から秋にかけて咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈の表示や草花を一言で表したコメントはオリジナルです。欲しい方は事務局までご連絡ください。



乙女高原ファンクラブの普通会员になりませんか？

乙女高原ファンクラブの会員には普通会员とサポーター会員の2種類があります。会報(ニュースレター)は年4回発行予定です。年1回は全会員に送っていますが、今号も含め、あとの3号は普通会员にしか送りません。乙女高原での活動を多くの方に知ってもらいたいので、できるだけ普通会员での入会をお勧めください。サポーター会員の方も、できれば普通会员になってください。会員が増えることで、乙女高原を守るファンクラブの発言力も強くなります。

乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」と、入会のご意志を事務局まで届けてくだされば、いつでも、だれでも会員になれます。ファックス、メール、手紙が確実です。
- ・入会金も年会費もありません。
- ・普通会员には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会员には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。
- ・そして・・・、乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnnet.ne.jp
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。
WEB <http://www.kcnnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 0220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ